

# Environment 環境への取り組み

クボタグループは「For Earth, For Life」をブランドステートメントに掲げ、美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしを支え続けます。事業を通じて「持続可能な社会」の構築に貢献します。

## 環境経営の基本方針

### 環境経営の基本方向

クボタグループの環境経営の基本方向として、「地球温暖化の防止」「循環型社会の形成」「化学物質の管理」の3項目を定め、その基盤として「環境マネジメントシステム」と「環境コミュニケーション」の充実を図っていきます。



### VOICE

#### 環境保全統括者メッセージ

### 「For Earth, For Life」の実現に向けて



クボタ  
取締役専務執行役員  
生産技術本部長

#### 小川 謙四郎

クボタグループは「For Earth, For Life」を使命とし、「Made by Kubota」のモノづくりを通して地球環境保全に貢献しています。経営層主導の環境経営を推進し、環境保全中長期目標に向けた環境負荷・環境リスク低減の取り組みや環境配慮製品の拡充を加速させています。

また、クボタ生産方式の考え方を取り入れ、エネルギー・資源のムダ・ロスの廃除と継続的な改善を進めます。製品については、エコプロダクツ売上高比率拡大に加え、IoTソリューションシステムなど、環境保全とお客様の課題解決に貢献する製品・サービスを拡充していきます。

これからも、グループ一丸となって地球環境保全に取り組み、GMBクボタにふさわしい環境経営を推進していきます。

### 環境経営推進体制

執行役員で構成する「環境経営戦略会議」に加え、日本・中国・アジア・北米・欧州の5地域で「環境管理担当責任者会議」を開催し、経営層主導の戦略的で独自性のある環境経営を推進しています。

## 環境保全中長期目標

クボタグループは、2030年に向けた「環境保全長期目標2030」および2020年に向けた「環境保全中期目標2020」を策定し、これらの目標に向けて生産および製品開発段階において計画的に取り組みを進めています。

### 環境保全長期目標2030

#### 地球温暖化の防止に向けた取り組み

2030年に、国内クボタグループのCO<sub>2</sub>排出量を2014年度比で30%削減します。

#### 環境配慮性の高い製品の開発

エコプロダクツ認定製品売上高比率を2030年に80%以上にします。2030年以降に上市する新製品はすべてエコプロダクツ認定製品をめざします。

#### エコ・ファースト企業として



クボタグループは2010年5月に、環境保全への取り組みを約束し、環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定されました。2016年に新しい中長期目標に基づいて「エコ・ファーストの約束」を更新するべく、申請手続きを行いました。

### 環境保全中期目標2020

対象	課題	取り組み項目	管理指標	基準年度	2020年度目標
グローバル生産拠点	地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2014	▲14%
		省エネルギー	エネルギー使用原単位	2014	▲10%
	循環型社会の形成	廃棄物削減	廃棄物排出原単位	2014	▲10%
			再資源化率(国内)	—	99.5%以上を維持
		再資源化率(海外)	—	90.0%以上を維持	
水資源節約	水使用原単位	2014	▲10%		
化学物質の管理	VOC削減	VOC排出原単位	2014	▲10%	
製品	製品の環境性能向上	エコプロダクツの拡充	エコプロダクツ売上高比率	—	60%以上
		リサイクルの推進	リサイクル素材使用率	—	70%以上を継続
		排出ガス規制対応	日米欧の最新の排出ガス規制に対応した産業用ディーゼルエンジンの開発と搭載製品の市場投入	—	—

※Webサイトでは、環境保全中長期目標やその実績について、詳細な情報をご紹介します。

詳細は、当社Webサイトにてフルレポート版をご覧ください。  
<http://www.kubota.co.jp/report/index.html>

## 事業所における環境負荷削減

### 環境負荷削減活動

環境保全中長期目標の達成に向けて、各拠点ではさまざまな環境負荷削減活動を展開しています。

VOICE

#### 塗装前処理溶液の常温化により、ボイラーでの天然ガス使用量を削減



SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd. (Amata Nakorn工場) Bトラクタ部品製造課 班長

Tanong Praisiri

SIAM KUBOTA Corporation Co., Ltd. Amata Nakorn工場(タイ)では、塗装ラインにおいて、従来は45～50℃に温めて管理する必要のあった塗装前処理溶液を常温管理することに成功しました(2011年よりメーカーと協同にて開発)。これにより、工場で使用する天然ガスの約60%を消費していた4基のボイラーの運転が不要となり、天然ガス使用量を大幅に削減することができました。

#### VOC排出量削減活動の事例



KUBOTA Baumaschinen GmbH (ドイツ)では、塗装ラインの排ガスを処理するための吸着材としてゼオライトを採用したVOC除去設備を設置し、大気へのVOC排出量を抑えています。

## 環境配慮製品・サービスの拡充

### エコプロダクツ認定制度

「エコプロダクツ認定制度」は環境配慮性の高い製品を社内認定する制度です。クボタグループの環境経営の基本方向である「地球温暖化の防止」「循環型社会の形成」「化学物質の管理」の各項目について評価し、社内基準をクリアした製品を「エコプロダクツ」として認定しています。

「エコプロダクツ認定製品」一覧は、Webサイトをご確認ください。  
<http://www.kubota.co.jp/kubota-ep/main/ecopro.html>

**エコプロダクツ**  
社内基準をクリアした環境配慮性が高い製品



**スーパーエコプロダクツ**  
業界初、社外で高い評価など突出した環境配慮性を実現した製品

### 2016年度エコプロダクツ認定製品(抜粋)



トラクタ  
Sluggerシリーズ  
SL35HQ

排出ガス規制対応



建設機械  
ミニバックホー  
U-40-6E

省エネルギー

排出ガス規制対応



耐震型ダクトイル鉄管  
GX形  
呼び径 400

省資源

環境負荷物質の削減

## 環境マネジメント

### 環境マネジメントシステム

内部統制システムに基づいて、拠点ごとに環境マネジメントシステムの確立とリスク管理活動の充実を図っています。近年では海外拠点における環境マネジメントの強化に取り組んでいます。



Kubota Industrial Equipment Corporation (米国)

#### 環境監査・リスクアセスメント

国内外の生産拠点において、視点の異なる2つのリスク管理活動を実施することで、さらなるリスク低減に努めています。



久保田農業機械(蘇州)有限公司(中国)

#### 環境関連外部表彰

環境マネジメントシステムの適切な運用と法令遵守に対して、複数の海外拠点が各国行政機関から表彰されています。

### 環境教育・啓発

クボタグループ従業員を対象に環境教育と意識啓発を実施しています。階層別研修、専門教育、一般教育などの従業員教育に加え、外部団体の環境教育への協力なども行っています。

### 環境法令遵守状況

環境法令を確実に遵守するために、排ガス・排水などについて、法律や条例の規制値より厳しい自主管理値を設定し、徹底した管理を実施しています。しかしながら、2016年には3件の不適正事案(排水規制値の超過、冷却水の漏えい、PCB含有機器の不適正処理)を発生させ、2017年も排水規制値の超過を1件発生させています。いずれも大事には至っておらず、必要な措置を講じたうえで再発防止に取り組んでいます。

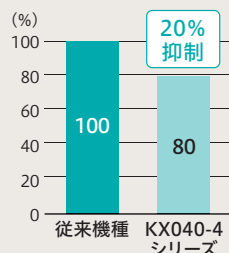
### 製品のライフサイクルにおける環境配慮

クボタグループは農業機械・建設機械からパイプシステムや水処理装置までさまざまな製品を取り扱っています。それぞれのライフサイクルにおいて、環境負荷の発生割合や大きさが異なるため、製品特性に合った負荷削減が重要であると考えています。

#### 建設機械の環境配慮事例

ミニバックホー KX040-4シリーズはクボタ独自の油圧システム※1とエンジンの省エネ※2により、従来機種に比べて使用時の燃料消費量を20%抑制しています。

#### ■作業当たりの燃料消費量比較



ミニバックホー KX040-4シリーズ

※1 作業負荷に応じて最適な油圧制御を行う「eco PLUS」機能を搭載

※2 燃焼方式の直噴化とダウンサイジング